

感染症情報 1月20日～26日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1102例(堺市	55例)
②溶連菌感染症	524例(堺市	67例)
③RSウイルス感染症	93例(堺市	9例)
④伝染性紅斑	67例(堺市	3例)
⑤水痘	65例(堺市	2例)

府下インフルエンザ定点300医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 6358例(堺市 603例)

が報告された。感染症報告数は前週比20.9%増の2,021件であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比較して22%増、堺市では10%減であった。溶連菌感染症は府下で26%増、堺市で59例→67例であった(14%増)。RSウイルス感染症は府下で2%増、堺市で10例→9例であった。伝染性紅斑は府下で18%減、堺市で5例→3例であった。水痘が府下で12%増、堺市で4例→2例であった。

インフルエンザは6358例は14%増、定点あたりは21.19であった。堺市は603例で15%増、定点あたりは20.79であった。

堺市教育委員会公表の30日正午現在の学年閉鎖は<堺区>錦小1・4年、少林寺小5年、<南区>はるみ小2年、<美原区>平尾小4年、学級閉鎖は<堺区>三宝小6年、榎小2・5年、英彰小6年、<中区>土師小2年、久世小1年、深阪小1年、平井中1・2年、<東区>白鷺小2年、登美丘西小6年、登美丘南小3年、野田小4年、<西区>浜寺東小5年、浜寺昭和小4年、鳳小5年、福泉上小1・3・6年、<南区>福泉中央小1・2・3年、はるみ小1・3年、三原台中2年、<北区>東浅香山小3・6年、五箇荘小2年、金岡南小2・4年、金岡南中1年であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。